



あっという間に11月です。気の早い街路樹は紅葉がはじまっています。地域によっては木枯らしが吹き始めているかもしれません。今月は大学祭のシーズン。あまり学術の香りがしなくなって久しい大学祭ですが、慶応の三田祭はゼミの発表がしっかり行われている数少ないケースです。ただし隣のミスコンは人ばかりですが、ゼミ発表は地味です。それでも大学の知的水準を示すものとして貴重です。ネットワークも各地の部会の活動を継続することで、地味にこつこつ？日本の経済教育の水準をあげるために活動を続けています。

今月もそんな活動の様子を報告します。

◆ 目次

【1】最新活動報告

10月の活動を報告します。

【2】イベントカレンダー

この秋の活動の予定などを紹介します。

【3】授業のヒント

【1】最新活動報告

■大阪部会 (No.30)を開催しました。

日時：2012年10月13日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学大阪サテライト

内容：出席者は11名。篠原代表および野間先生(同志社大学)からの報告を受けて、来年の夏の教室の大阪会場の運営、内容に関する総括、来年の準備などが討議されました。

そのなかで、経済学者と実践家のコラボのセッションを増やして、教室での実践の経済学からの意味づけと、経済学の知見をいかに教室の授業に落とし込むかの共同作業を夏の教室で行いたいとの要望が出てきて、検討事項となりました。

実践報告では河原先生(立命館大学・関西大学中等部)から興味深い実例が紹介されました。また、丹松先生(池田市教育委員会)から韓国の経済教育の事情についての資料が提供されました。

内容の詳細については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka30report.pdf>

■東京部会 (No.52)を開催しました。

日時：2012年10月23日(火) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部7号館13階会議室

内容：出席者は12名。新井から来年の夏の経済教室の日程案と内容の検討事項が提示され検討が行われました。今後さらに開催予定地の先生方との連携の確認、大阪部会での提案を踏まえた講義内容のなどの課題が確認されました。

また、年次総会、ワークショップの関係の取り組み状況が報告されました。

ついで、今秋おこなわれた教育関係の学会で報告されたネットワーク関係の先生方の内容が紹介されました。入試問題プロジェクトの総括を日本社会科教育学会で発表された山崎先生(北海道豊富高校)に関しては、当日の司会者であった栗原先生(東洋大学)から討議の様子などの説明がされました。実践報告では、宮尾先生(国際大学)が学生に実施した行動経済学に基づく実験が紹介され、あわせて文献の紹介もされました。

内容の詳細については、以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo052report.pdf>

■京都部会 (No.16)を開催しました。

日時：2012年10月26日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 光塩館2F 第二共同研究室

内容：出席者7名。まず野間先生(同志社大学)から夏の教室の総括など連絡事項が報告されました。また、3月の年次総会の内容の概要も紹介されました。

実践報告では中藤先生(嵯峨野高校)の授業プリントをもとに、需要供給曲線の意味やシフトの説明の仕方に関して川上先生(同志社大学)からコメントがあり、議論がされました。さらに、柳先生(安曇川高校)から神戸大学の法と経済の連携プログラムの講演内容が紹介されました。

内容の詳細に関しては、以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto016report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を日程順に掲載します。

■札幌部会 (No.5)を開催します

日時：2012年11月10日(土) 14時30分～16時30分

場所：キャリアバンク セミナールーム (Sapporo55ビル5階)

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo005flyer.pdf>

■東京部会 (No.53) を開催します

日時：2012年11月20日(火) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部7号館13階会議室

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo053flyer.pdf>

■大阪部会 (No.31) を開催します

日時：2012年12月15日(土) 16時00分～18時00分

場所：未定

内容、参加方法など詳細は決まり次第HPに掲載します。

■京都部会 (No.17) を開催します

日時：2013年1月18日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto017flyer.pdf>

■関連団体のお知らせ

第29回授業のネタ研究会 in 関西

日時：2012年12月23日(日) 9:30～17:00

会場：高津ガーデン2F ガーベラ他

内容、参加方法など詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/29th%20neta.pdf>

【 3 】 授業のヒント

「総合的視点を」

簡単に言えば、経済の授業から越境してみようということです。逆に、経済以外の授業のなかで経済の視点を入れてみようということです。

生徒は、歴史は歴史、国語は国語、英語は英語と教科の枠で授業に取り組んでいます。総合的授業の時間が設定されていますが、空洞化しているのは先生方ご存知のとおりです。

では、総合学習は成り立たないのかというと視点を入れることである程度可能になります。

例をあげてみます。倫理で中国思想を扱います。必ず出てくるのは孟子の性善説、荀子の性悪説。それをディベート風に討論させるのも良しですが、前号でも触れたゲーム理論の「囚人のディレンマ」ないし「チキンゲーム」の数値例を使って、ぐー・ちょきゲームをやらせて、あなたは善人？悪人？という問いかけをするという授業などはどうでしょうか。もう一つあげてみましょう。漱石の『こころ』。

これを三角関係ととらえ、機会費用の重さを語ることもできます。
Kを裏切ってお嬢さんを獲得した先生のコストは、さびしさと自死でした。
選択のコストです。こんな国語の授業はありえないでしょうが、これも一種の
総合です。 経済は経済だけと思わずに、経済を軸足にどんどん越境する。また楽しか
らずやです。(新井)

【 4 】 編集後記 (みみずのたはこと)

大阪の教員採用試験の倍率が下がっているそうです。管理がきつくなり、給料が
さがった職場にだれが好き好んで勤めるかというところまではすぐに分かります。
でも一番の要因はモチベーション、それも見えない部分に関するものでしょう。
人はどんな時に一生懸命になるか、経済学でも話題になりますが、教育のようなある種、
文化伝達の仕事は見えないプライドがとても大きいと思います。
それをずたずたにするような教育改革は、最悪の政策かもしれません。
そして一番被害を受けるのは、生徒たちです。「勝者ののろい」というゲーム理論の
ストーリーがリアルです。(新井)

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお
手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====
◆◇
編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇